

# ばっけ



第113号  
発行令和7年5月  
放送大学秋田学習センター

〒010-8502

秋田市手形学園町1-1(秋田大学内)

TEL: 018-831-1997

E-mail: akita-aktsc@ouj.ac.jp

## 名もなき人々の物語～認知症の方が語る小さな物語～

放送大学秋田学習センター 客員准教授 浅野 朝秋



NHKで放映しているファミリーヒストリーという番組をご存じだろうか？ 著名人が登場して、彼らの先祖が誰でどのような人だったか、様々なエピソードを交えながら紹介する番組で、副題は家族の絆の物語である。当たり前的事だが、両親がいて、その両親にも両親がいて…とずっと繋がっていくなかで、自分が奇跡のように存在しているのだということに気づかされる。

テレビに出るような著名人を対象にしているわけではないが、自分も仕事と（私は、リハビリテーション職種のひとつ、作業療法士である）、研究者としての立場で、これまで100人近くの認知症の方から、一人ひとりのパーソナルヒストリーに関するインタビューをおこない、その内容をライフヒストリーブックというアルバムにまとめてきた。その目的は、完成したアルバムを一緒に見て交流することで、その認知症の方への理解が深まり、結果として良質なケアを受ける可能性が高まること、会話すること自体が脳に良い影響を及ぼすことを期待することである。

「これと言ってお話しするような、たいしたことなんかない」と固辞される方もいるが、普通の営みのなかでの、小さな出来事で充分である。認知症の方にも、断片的な記憶は多く残っている（それらを引き出すには少々のテクニックが必要ではある）。多くの方のエピソードは、こどもの頃、学生のころ、仕事を始めた頃、結婚した頃、育児を始めた頃のトピックに大体集約される。実際にアルバムを使って関わると、行動心理症状と言われる不安をベースにした不穏や暴言などの行動が消失し、うつやアパシーも軽減するケースが多い。これらの効果は、証明することは困難ではあるが、人間には他者と交流したい、他者に自分という人間を理解してもらいたいという欲求が本質的に備わっているからであり、たとえ認知症になったとしてもそれは変わらないからだと考える。しかし残念なことに認知機能の低下は、本人の思考力や言語機能に悪影響を与え、周囲とのコミュニケーションを阻害する方向に進んでしまいがちである。コミュニケーション機会の減少はさらなる認知機能の低下をもたらすだろう。そこで認知症の方とうまく関わるツールが必要であり、このライフヒストリーブックというアルバムがそれに該当する。

どなたの話す内容もそれぞれ興味深い話が多い。朝鮮半島や樺太から命からがら逃げてきた話、満州鉄道で特急あじあ号を運転していた話、など歴史的にも価値があるだろうエピソードにも多く触れてきた。名もなきと言えば、失礼にあたるかもしれないが、どんな方にも物語はあり、それを表現する場が必要だと考える。現代ではそれがインターネット空間に移行しているかもしれないが。

# 2024年度第2学期 ご卒業おめでとうございます！



秋田学習センターでは、2024年度第2学期をもって、教養学部生34名が卒業されました。教職員一同心からお祝い申し上げます。

4月5日（土）に秋田学習センターにおいて、学位記授与式が挙行されました。卒業生12名が出席し、式は滞りなく終了しました。



## 2024年度第2学期 学位記授与式 卒業生代表謝辞

### 『広くて深い学び』

このたびは、私たち卒業生のために、このような素晴らしい学位記授与式を開催していただき、ありがとうございます。

私はこれまで「心理と教育コース」で2年間、「生活と福祉コース」で2年間学んできました。入学のきっかけは二つあります。一つ目は、家族の事情により秋田へUターンをしたことです。二つ目は、それまで関心をもちながらも体系的に学んでこなかった心理学の分野について学びたいと思ったことです。秋田に住みながらも最先端の環境で学べることに魅力を感じ、放送大学への入学を決めました。

印象に残っている授業はたくさんあります。「心理検査法基礎実習」では自分が被験者となる体験や、検査後の所見を書く体験を通して人物の特性について考えることができました。「発達障害に対する作業療法」の授業では「介助される方の立場になって」という言葉が繰り返し語られていました。授業ではゼリー状のものを舌に置きながら、飲み込みやすいポイントを探すという実習がありました。スプーンの材質、入れる角度、分量、どの部分に置くかなど、実体験を通して配慮すべき事柄について気づくことができました。また、去年は放送大学の本部で学ぶ機会がありました。全国各地から学生が集い、熱心に授業に参加する姿に刺激をうけました。

秋田学習センターの面接授業や、放送大学本部での授業では、様々な年代、様々な背景をもつ学生と交流することができ、貴重な体験となりました。また、学割を申請する際に秋田学習センターの事務室を訪れると職員の方に「頑張ってきてくださいね」と温かく声をかけていただきました。職員の皆様による環境の整備や細やかなご配慮も学びの原動力となりました。

放送大学での学びの特徴は「広くて深い学び」だと思っています。自分が最初に学ぼうとしたのは心理学の分野でしたが、そこを入口として障がいのある方への支援に興味を広がり、福祉の分野も学びたいと思いました。また、支援という視点から法律や就労の実態についても学びたいと思うようになりました。放送大学で学ぶと、学びたい分野が広がっていくのです。また、他の分野を学ぶと、先に学んだ分野とのつながりも考え、さらに深く学びたいという気持ちになります。いったん「卒業」という節目を迎えますが、また「社会と産業コース」に入学し、「広くて深い学び」を目指して学び続けたいと思います。

放送大学で出会えた学びの仲間である学生の皆様、教え導いてくださった先生方、サポートしてくださった職員の皆様、関わってくださったすべての皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

2025年4月5日 卒業生代表 A・T





倉林所長式辞



卒業生代表謝辞



学位記授与式の様子（学歌演奏）



学位記授与式 記念撮影

## 所長表彰受賞

平成26年度に制定した「放送大学秋田学習センター所長表彰取扱要項」に基づき、所長表彰表彰式を4月5日（土）の学位記授与式終了後に開催しました。

受賞された皆様、誠におめでとうございます。

### 学部において4コース卒業された方

阿部 せつ子さん 生活と福祉コース、心理と教育コース、人間と文化コース、社会と産業コース

### エキスパートの認証を取得された方

川和田 亮さん 社会生活プランナー、地域貢献リーダー人材

小林 牧子さん 異文化理解支援

竹内 敦子さん 心理学基礎

※ご本人から同意いただいた方の氏名を掲載させていただいております。



所長表彰記念撮影



# 2024年度第2学期

## 卒業生の皆様からメッセージをいただきました♪



### ー自然と産業コースー

一応理系の学部を卒業しているのですが、今回は自然と環境コースで骨太な勉強をすることができ、学問の奥深さと、楽しさを実感しています。どうもありがとうございます。

伊藤 友美さん

### ー心理と教育コースー

視野の広がり 価値観の深まり  
放送大学の学びを通して今まで知らなかった世界を知ることができました。「知識」が増えていくことで希望や楽しみも同時に増えていくことを得ることができました。「学び」はいろいろなことを可能にできることを学べ、今「自分にも何かできるかも」とワクワクを胸に秘めています。「始めるのに遅い」はなく更なる行動に意欲をもって卒業できることを嬉しく思い学ぶ大切さをずっと持ち続けようと思います。

### ー心理と教育コースー

入学してまもなくコロナ禍があり、実際に登校する機会は多くありませんでしたが、学修相談で大学生活について相談させていただいたり、面接授業で協力しながら実験を行うなど、実りある大学生活を送ることができました。

いつかまた入学したいと思える、とても充実した6年間でした。ありがとうございます。

A・T さん

### ー生活と福祉コースー

放送大学での学びは第二の人生の羅針盤となりました。本当にありがとうございました。

石井 公人さん

### ー心理と教育コースー

仕事をしながらリスニングをすることができました。テキストが非常に分かりやすいほか、いつでも、どこでも、TVやPC、スマホで学習することが可能で、繰り返し視聴して学習できました。学習センターのスタッフの皆様も親切で、図書館も充実、ゼミや面接授業でも有意義に教養を深められました。どうもありがとうございました。

星山 吉英さん

### ー心理と教育コースー

予定より少しかかったの卒業となりました。最初は無理かなと思いましたが、学び続けるうちに楽しいという感覚に変化していききました。

卒業が目的ではありませんので“生涯学習”、続けていきたいと思っています。

菊池 丈仁さん

### ー社会と産業コースー

久しぶりの全科履修生での学習は、思い描いた通りには単位が修得できず、時間がかかってしまいました。在学中の面接授業はとても楽しかったです。今年度からは、「生活と福祉」コースに継続入学します。

所長はじめ、センター職員のみなさま、お世話になりますが、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

佐々木 奈々子さん

### ー心理と教育コースー

この度無事に3度目の学部卒業を迎えました。その間、大学院の修了もできました。これまで学び続けてこられた環境に感謝します。今後は同窓会の活動に携わっていければと思います。

林 次男さん

### ー生活と福祉コースー

19年間という長い在籍での卒業。大変お世話になりました。ありがとうございます。

### ー心理と教育コースー

普段の私たちの学習とまた違った視点で学習でき、とても楽しかった。

ここで学んだことをこれからの仕事につなげていきたい。

### ー社会と産業コースー

平成21年度より学び始めて、今回は4度目の卒業となります。

秋田学習センターのスタッフの皆様のおかげで続けることができました。本当にありがとうございました。



教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、ますますのご活躍を祈念しております。



# 2025年度第1学期 ご入学おめでとうございます！



2025年度第1学期入学者156名の皆様、ご入学おめでとうございます。

4月5日(土)、秋田学習センターにて「2025年度第1学期入学者の集い」が開催され、27名の新生が参加しました。新たな学習への思いを胸に新学期が始まりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



入学者の集いの様子（学長メッセージ）

## 【教養学部】

全科履修生	52
選科履修生	46
科目履修生	20
特別聴講生	25
合計	143

## 【大学院】

修士全科生	1
修士選科生	8
修士科目生	4
特別聴講生	0
合計	13

秋田学習センター入学者数  
令和7年4月10日現在



今学期入学された方の中からお二人にご寄稿いただきました。

### 『目標は修士論文』

【修士科目履修生】H.Sさん

大学院修士科目生として入学した会社員です。2025年3月に他大学の通信教育課程を卒業しました。時間的、場所的、経済的に制約がある中で方向性に迷っていましたが、放送大学院で修士論文を執筆できるようになることを目標と決めました。まずは修士科目生として単位を取得しながら修士全科生を目指そうと思っています。学ぶことは自分のライフスタイルを豊かにするものと実感しております。また、学んだことは社会生活に役立つことが多くあります。大学院での学習を通じて課題を見つけ、それを分析する力や批判する思考を養い、キャリアアップにとどまらず、社会貢献できる人として成長していきたいと考えております。今すぐにできることから積み重ねていきます。

### 『支援と探求のための一歩』

【全科履修生】柴田 翔矢さん

専門学校でプログラミングを教える傍ら、小中学生の家庭教師をしています。放送大学の心理と教育コースを選んだのは、WISCなどの検査を受けている子を指導する中で、結果を読むだけでなく「どう支援すればよいか」で悩んだ経験があったからです。

高校は調理科を卒業しましたが、AI時代でも「人との関わり」は必ず残ると考え、あえて人間らしさが問われる道を選びました。

私の今の一番の目的は「学ぶこと」です。卒業することではなく、学びを通じて自分の認識がどう変わるかに価値を感じています。心理や精神学も独学で学び続けており、時間の許す限り、今後も広く深く学んでいきたいと考えています。

# 客員教員退任のご挨拶



エンド・オブ・ジャーニー

秋田大学准教授 小倉 拓也



いま最もよく読まれている漫画のひとつ『葬送のフリーレン』は、哲学的示唆に富む作品である。物語は、勇者一行が冒険の末に魔王を倒し、世界に平和をもたらした「後」からはじまる。偉業を成し遂げた勇者一行のうち、主人公の魔法使いフリーレンだけが長命種のエルフで、ともに闘った人間の仲間たちの老いと死を見届けながら、ひとり果てしなく長い時間を生きていく。

「すぐ死んじゃうでしょ」。そう言いながら、短命な人間たちとの関わりを避け、ひとり魔法研究を続けていた彼女は、しかしあることがきっかけで、かつての仲間たちの意志を継ぎ、若い人間の弟子を取る。フリーレンは、出会った頃にはまだ幼い少女だったその弟子を育てながら、新しい冒険に出る。いままで感じたことのない、友愛や信頼の感情を知る。この冒険の終わりに、フリーレンは、愛する弟子の老いと死を見届けることになるだろう。

目の前をいくつもの人生が通りすぎていく。ほんの短い時間をともに過ごし、二度と会うことのない、血縁も地縁もない、ただ偶発的な理由で関わることになったひとたちに、自分が長きにわたり学び、手に入れたものを——手に入れられなかったものも一緒に——伝える。『葬送のフリーレン』は、研究と教育の物語である。

弟子の学び、その一生は、フリーレンからすれば無にも等しいほどに短いものかもしれない。しかし、その短い一生で、弟子は、フリーレンにはできない仕方で、多くのことを知り、感じ、そして成し遂げるだろう。ここに研究の意味があり、教育の意味がある。

さらば友よ。長い研究人生のなか、君たちと過ごした短い時間を、私は忘れない。



退任ご挨拶

秋田大学准教授 堀江 さおり



令和7年3月を持ちまして、4年間務めました放送大学秋田学習センターの客員教員を退くことになりました。本当にありがとうございました。

この4年間、「消費生活ゼミ」や面接授業を通して学生のみなさまの真摯に学ぶ姿勢に感銘を受けたり、貪欲な学習意欲に圧倒されたりしながら、生涯にわたり学び続けるって本当に素敵だなと思う場面に数多く遭遇しました。そのおかげで、私も負けないようにしっかり準備して臨んだ4年間でしたので、学生のみなさま以上に成長できた気がしております。

私が扱っていた「消費生活」は生きている限り誰もが学び続ける必要のある学習課題です。生活することそのものが学びになりますので、「消費生活ゼミ」は終わってしまいますが、日々の疑問をそのままにせず、ちょっと調べてみたりちょっと考えてみたりすることで、自分の理想とする生活につなげていただけるといいなと思っております。人生100年時代を楽しみながら生活していただきたいです。

最後に、倉林所長をはじめ秋田学習センター職員のみなさまには大変お世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

みなさまにはまたお会いできることがあるかもしれませんので、そのときまでお元気で！

# 新任客員教員のご挨拶



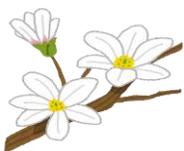
## 新任ご挨拶

秋田大学教授 今井 忠男



新年度から「鉱山ゼミ」を開講することになりました、客員教員の今井忠男です。よろしくお願いたします。これまで放送大学では、対面授業や講演会を通じて、皆様にお会いしたことがあるかも知れません。これからは、週1回(主に水曜日午前)秋田学習センターに通っておりますので、「鉱山」に関する質問などありましたら、連絡してください。皆様からの情報が、私の研究の動機になりますので、ご質問をお待ちしています。

ところで、教員プロフィールに「印象に残る本」として、カフカの「変身」を挙げ、「今またカフカと近代鉱山との関係を知って、読み直しました。」と書きました。その謎解きを少しだけします。カフカは、プラハ(現在のチェコ)の大学を出て、プラハの労働災害保険局に勤めます。そこでの主な仕事は、企業の労働災害調査と、事故防止の提案でした。当時、最も危険度が高い採石業について、カフカ自身が報告書を書いています。「カフカ」(ポケットマスターピース01、集英社文庫、2015年)には、この報告書(「採石業における事故防止(1914年次報告書より)」)が翻訳されており、近代の採石業では、大規模な労働災害が多発していることがわかります。カフカは、この後、1915年に「変身」を発表しています。カフカが労働災害の何を見て、この「変身」を書いたのかと思うと、私には、この小説がより重くのしかかってきます。今は歳を取り、青年の頃のように、先入観なしに小説が読めなくなった寂しさも感じますので、私の読書体験など書かない方が良かったかも、と反省しつつ筆を置きます。



## 新任ご挨拶

秋田大学准教授 西川 竜二



初めまして。今年度客員教員を務める西川と申します。私は建築学の建築環境という分野が専門です。人にとって健康で快適な環境はどのようなものか、そうした室内外の居住環境を地域の気候風土に適した省エネ・低環境負荷な方法でどのようにつくるかを研究し、社会に還元することを目的としています。以前には省エネや低環境負荷な居住環境と言えば暑さ寒さ等を我慢して不快や作業性の低下になるという決めつけや実際そういう状況もありましたが、現在は省エネ・低環境負荷と健康・快適は両立するもので、健康・快適な環境を訴求力にして省エネ・低環境負荷な建物や住まいを社会に普及させる流れも生まれています。高血圧や循環器疾患などは「生活習慣病」と言われますが、近年の研究で低断熱な住宅での寒冷環境での生活がそれら疾患のリスクを高めることが明らかになりつつあり、「生活環境病」という考え方も提唱されています。私のゼミの「住環境の快適と健康」では、こうした知見・認識も共有や議論したいと考えています。また、身近な環境を対象としているので、大学の対面授業では、知識の教授と実際の環境の測定を組み合わせ、自身の体感や体験と結びつけて実感し腹落ちする、そんな学びを目指しています。放送大学のゼミでも、本やメディア教材では学べない、そうした学びも提供できればと思っています。身近な建物や住まい等の環境に興味や問題・改善意識があり、自分で測って確かめたり考えたりしてみたい方がおられましたらお待ちしております。

私のごく限られた知識や経験で、放送大学で学ばれる様々な学習者の学修相談や知的好奇心に十分にお応えできるか心配もありますが、よろしくお願いいたします。

# 面接授業のご案内

面接授業とは、学習センターにて直接講師から指導を受ける授業です。また、学生同士の交流・啓発の場としても広く活用されています。

授業は全8回で、連続する土曜・日曜の2日間で集中して行います。全科履修生は、卒業するために面接授業またはオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。

※「共修生」として、大学院生・一般の方も聴講できる制度がありますので、お問い合わせください。

## 受講時の注意事項

- ・当日は授業開始時刻に遅れないように入室願います。
- ・あらかじめシラバスで【受講前の準備学習等受講者が当日用意するもの】をご確認ください。
- ・【教科書】が指定されている科目は、各自で用意し、当日お持ちください。
- ・【参考書】は必ず購入しなければならないものではありませんが、授業を理解するうえで参考になるものです。学習センターの図書室で閲覧できるものもありますので、ご利用ください。
- ・秋田学習センターには食堂・売店はありませんので、昼食は各自でご用意ください。
- ・面接授業を受講する場合のみ、秋田大学手形キャンパス構内の駐車場を利用できますので、路上駐車などは絶対に行わないでください。

## BYODについて

- ・パソコン等を使う面接授業を受講する場合、ご自身のパソコン等を持参して受講する方式（BYOD：Bring Your Own Device）となります。

### 《受講前の確認事項》



#### ①必要な端末・ソフトウェアの確認

受講に必要なパソコン等の端末の種類やソフトウェアについて、シラバスにて必ず確認してください。

#### ②Wi-Fiの申請・接続設定

学習センターの無線LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の申請手続きを行う必要があります。（下記参照）

## ◆学習センター内でWi-Fiを利用する方法◆



### 《申請方法》

- ① システム WAKABAの「放送大学自己学習サイト」で「情報セキュリティ研修（学生用）」を受講し、小テストに合格する。
- ② システムWAKABAの「各種届出・申請様式」で「無線LAN利用申請（オンライン）について」をクリックする。
- ③ 参考URL <https://forms.gle/GbZjCKTBEzwanENA> をクリックする。
- ④ 「無線LAN利用申請」をクリックする。
- ⑤ 氏名を入力し、無線LAN利用条件を確認する。同意にをし、「申請する」をクリックする。
- ⑥ 申請後、即時IDとパスワードが発行されます。

■発行されたID・パスワードをご自分の端末に入力することでインターネットへ接続できます。

## 追加登録について

空席がある科目については、追加で募集を行っています。秋田学習センター開設科目の追加登録方法は、以下の通りです。

## 学習センターの窓口で申請

科目追加登録申請書・授業料(1科目6,000円×申請科目数)をご持参ください。  
※授業料は、おつりのないようにご準備願います。

## 郵送による申請

科目追加登録申請書・授業料(1科目6,000円×申請科目数)・返信用封筒(110円切手添付・宛名明記)を同封のうえ、現金書留にて郵送してください。

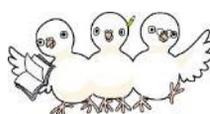
- ただし、授業実施日2日前の17:00までの受付となります。また、受付期間内でも定員になり次第締切となります。
- 申請書は学習センターにあります。ウェブサイトからもダウンロードできます。
- なお、追加登録の受付方法は各学習センターで異なりますので、当該学習センターへお問い合わせください。

## 【追加登録を受け付けている科目一覧】

(5月17日以降開講科目)

科目区分		科目名	担当講師	授業実施日
自然と環境	専門	実感できる物理学	山本 良之	5月17日(土)・18日(日)
生活と福祉	専門	障害者の社会参加と就労支援	前原 和明	5月24日(土)・25日(日)
情報	専門	●初歩からの表計算プログラミング	辻 靖彦	5月24日(土)・25日(日)
心理と教育	専門	心理検査法基礎実習	柴田 健	6月 7日(土)・ 8日(日)
人間と文化	導入	生活地理学入門	篠原 秀一	6月 7日(土)・ 8日(日)
心理と教育	専門	●心理学実験2	中野 良樹	6月28日(土)・29日(日)
社会と産業	専門	SDGs 下のアジア産業論	古橋 元	7月 5日(土)・ 6日(日)
外国語	基盤	英語学習の楽しみ方	若有 保彦	7月 5日(土)・ 6日(日)
社会と産業	専門	エネルギー問題から見た国際関係	稲垣 文昭	7月12日(土)・13日(日)
人間と文化	導入	英米文学入門	畠山 研	7月12日(土)・13日(日)

## ●BYOD科目



## 秋田をまなぶ講座シリーズ2025について

今年度は、7月5日(土)の男鹿市から始まり、全3回開催する予定です。

お申込み方法などは、同封のチラシや秋田学習センターウェブサイトを確認してください。

皆様のご参加をお待ちしております。

放送大学秋田学習センター



秋田を知る。  
連携セミナー

### 第1回

■7月5日(土)  
13:30~

#### 「男鹿半島の活断層

#### もたらされた恵みと地震災害の脅威」

会場:男鹿市民ふれあいプラザ(ハートピア)(男鹿市)

講師:西川 治 氏 (秋田大学准教授)

定員:100名

### 第2回

■9月6日(土)  
13:30~

#### 「秋田弁の魅力を探る-多様な特質とはたらき-」

会場:きららとしょかん土崎図書館 (秋田市)

講師:大橋 純一 氏 (秋田大学教授)

定員:30名

### 第3回

■10月25日(土)  
13:30~

#### 「最近の秋田県における災害について」

会場:花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」(大仙市)

講師:渡邊 一也氏 (秋田大学准教授)

定員:30名

## 2025年度第2学期学生募集について

### 10月入学生を6月10日から募集します！

放送大学の入学資格は学ぶ意欲です！放送大学はあなたの『意欲』を応援します！  
学生の皆様からも、お近くの方々へ放送大学の特色を発信していただきたく思います。  
どうぞよろしくお願いたします。

#### 第1回募集期間

2025年6月10日(火)9:00 ~ 8月29日(金)

#### 第2回募集期間

2025年8月30日(土) ~ 9月11日(木)17:00

## 司書教諭の資格取得を目指す皆様へ

募集要項は秋田学習センター窓口で配布しています。  
放送大学ウェブサイトからも募集要項の請求ができます。

#### 出願期間

2025年5月1日(木) ~ 5月31日(土) (私書箱必着)

※インターネット出願不可。出願には資料請求が必要です。





## 通信指導について

『学生生活の葉』学部pp67-72 大学院pp72-77

通信指導の実施方法は、「Web通信指導による提出」を基本とし、問題冊子の送付はありません。郵送提出科目のみ、「郵送提出」により実施します。

なお、履修科目の通信指導問題は、4月上旬に授業共有ファイルにアップロードされています。  
(システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)

## Web通信指導による提出

2025年5月8日(木)10:00 ~ 5月28日(水)17:00

- ・自宅から、インターネットを通じてWeb通信指導システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。(評価対象となる解答は一回目の提出のみ)
- ・科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
- 択一式問題・・・選択肢をクリックすることで解答します。

- 記述式問題・・・オンラインテキスト(直接入力)形式→解答記入欄に文字入力することで解答します。  
ファイル添付形式→解答を記載したファイルを解答提出欄に添付することで解答します。

## 郵送による提出(郵送提出科目のみ)

2025年5月14日(水) ~ 5月28日(水) 必着

- ・4月下旬、大学本部から送付(印刷教材とは別に送付)されている通信指導問題冊子・マークシート・返送用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。  
(提出方法の詳細は問題冊子等に同封します)

## 2025年度第1学期単位認定試験について

『学生生活の葉』学部pp72-82 大学院pp77-86

放送授業を科目登録し、通信指導に合格して受験資格を得た方は、各学期末に行われる当該科目の単位認定試験を受験することができます。また、Web受験方式を基本とし、一部の科目のみ郵送受験方式により実施します。

## 1. 試験日程

## ● Web受験

択一式科目 7月16日(水)9:00~7月24日(木)17:00

記述式・併用式科目 7月16日(水)9:00~7月20日(日)17:00

## ● 郵送受験

すべての出願形式 7月16日(水)~7月20日(日) 必着

## 2. Web単位認定試験システム体験版

Web単位認定試験システムの中には、操作練習用の科目「Web単位認定試験システム体験版」があります。単位認定試験期間前までに、「Web単位認定試験システム体験版」を利用し、解答提出までの一通りの操作を、実際に試験で利用する端末で必ず確認しておいてください。  
※アクセス方法は「学生生活の葉」学部27ページ、大学院40ページをご参照ください。

## 【放送大学】Web単位認定試験

## リンク集

- 操作ガイド(必読)
- ・よくある質問
- ・不正行為について
- ・生成AIの使用禁止について

## 2025年度第1学期 日程

## Web単位認定試験の利用期間

体験版開始	2025年 4月1日(月)10時
単位認定試験期間	【記述式・併用式】 2025年 7月16日(水)9時~ 7月20日(日)17時 【択一式】 2025年 7月16日(水)9時~ 7月24日(木)17時

## 2025年度第1学期 単位認定試験

【お知らせ】過去のお知らせ

## 2025.04.01 「Web単位認定試験システム公開」のお知らせ

4月1日(火)10時より、2025年度第1学期単位認定試験向けシステムを公開します。2025年度第1学期単位認定試験を受験予定の方は、「Web単位認定試験体験版」による解答提出までの操作及び受験予定の環境での動作を、試験期間前までに必ず行ってください。

はじめに、画面左側の「リンク集」→「○操作ガイド(必読)」から、受験に際しては、受験票同封書類に記載の「単位認定試験受験に際しては」

「科目一覧」に受験科目が表示されない場合はこちら

## 科目一覧

Web単位認定試験体験版

Web単位認定試験は集中できる環境を整えてから受験しましょう!



Web単位認定試験体験版をクリック

### 3.実施方法

#### ●Web受験

- ・自宅からWeb単位認定試験システムにアクセスして受験します。(郵送受験科目除く)
- ・試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。
- ・受験開始ボタンを押すと50分のカウントダウンが始まります。受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。一時停止をすることはできません。

#### ●郵送受験

- ・「行政学講説('24)」、「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」のみ郵送受験方式で実施します。
- ・7月上旬ごろ、大学本部から送付される、問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、試験期間内に郵送で答案を提出します。

### 4.Webカメラによる本人確認が始まります！

2025年度第1学期より【大学院科目】の単位認定試験においてWebカメラによる本人確認を実施します。

放送大学では、単位認定試験における厳格性と公正性向上のための取組として、Webカメラによる本人確認を実施することとなりました。

大学院修士課程の全学生に対して、放送大学本部より「Webカメラによる本人確認について」をメールおよびシステムWKABAの「学内連絡」による周知を行っておりますのでご確認ください。

※お問い合わせについてはメールにて受付いたします。なお、Webカメラの操作・設定に関するお問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。

【メール】[shugaku-ka@ouj.ac.jp](mailto:shugaku-ka@ouj.ac.jp) お問い合わせの際は、以下の情報をお知らせください。

①氏名、②学生番号、③連絡先、④動作環境(OS名、ブラウザ名)、⑤ご質問内容

### 5.秋田学習センターで「Web単位認定試験操作体験会」を開催します！

日時

①6月21日(土)10:00~12:00

②6月21日(土)14:00~16:00

③6月22日(日)10:00~12:00

④6月22日(日)14:00~16:00

※各回とも同じ内容です。空席のある場合は、複数回の参加も可能です。

上記①~④の日時に都合が合わない方はご相談ください。

【定員】 各回とも5名

【場所】 秋田学習センター実習室

【予約方法】 参加希望日の前日までに秋田学習センター窓口または電話(018-831-1997)で事前予約してください。

ご参加ください



パソコン操作が不安な方はこの機会にぜひご参加ください。  
特に、「単位認定試験受験場所変更願」を提出し、秋田学習センターでの受験希望の方は必ずご参加ください。



## システムWAKABA（教務システム）について 『学生生活の菜』 学部pp27-29大学院pp40-42

放送大学では学生の学修をサポートするため、教務情報システム（システムWAKABA）など、インターネットを利用した各種情報システムを提供しています。ログインIDおよびパスワードは、入学許可書に記載されています。

システム利用再開や変更したパスワードを忘れた場合は、秋田学習センター（☎018-831-1997）または、学生サポートセンター（☎043-276-5111）へ連絡してください。

### 放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

【初回ログイン時について】  
初回ログイン時は、必ず初期パスワードの変更を行ってください。  
初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません

•パスワードの変更は、下記 URL から行えます。  
<https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>  
※パスワードを変更してもログインできない場合には、パスワードを再入力する必要があります。下の【問い合わせについて】を確認の上、ご依頼ください。

※パスワードを初回入力後に変更  
認証されない場合は、パスワードを再入力していただく必要があります。  
※パスワードを変更してもログインできない場合は、パスワードを再入力する必要があります。下の【問い合わせについて】を確認の上、ご依頼ください。

【新入生の方へ】  
システムWAKABAを利用する際は、初回のパスワード変更が必要となります。

パスワード変更はこちらから

ログインID:ハイフン(-)無しの学生番号10桁  
パスワード:入学許可証に記載(初回ログイン時は必ずパスワードを変更してください)

ログイン

#### 【主な機能】

- ・キャンパスライフ、授業サポート  
大学からのお知らせ、学習センターからのお知らせ、スケジュール、質問箱
- ・教務情報  
学生カルテ、変更・異動手続き、履修成績紹介、科目登録申請
- ・学内リンク(各システムへのリンク)  
放送授業(テレビ、ラジオ科目)のインターネット配信システム、Web通信指導システム(お試し版有)、Web単位認定試験システム(体験版有)、オンライン授業システム、ライブWeb授業システム

**重要!**

※Web通信指導やWeb単位認定試験でログインする際もシステムWAKABAのパスワードが必要です。必ずお確かめください。

## 学生証について

学生証は、視聴学習室・図書室の利用、ゼミの参加、面接授業の追加登録、単位認定試験の受験(学習センター受験)、各種証明書の発行申請時に必要です。

学生証の受け取りは、学習センターの事務室窓口または郵送にて行っております。

#### 事務室窓口での受け取り

【4月に新規入学・再入学・継続入学された方】

→入学許可書をご持参ください。

【有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方】

→期限切れの学生証をご持参ください。

#### 郵送による受け取りを希望される方

以下の書類を秋田学習センターまで送付してください。

- ① 任意様式の申請書  
(学生番号、氏名、住所、生年月日、郵送希望の旨の記載)
- ② 特定記録郵便320円分の切手を貼った宛名明記の返信用封筒(定形封筒)
- ③ 入学許可書のコピー、または顔写真付きの公的な身分証明書  
(運転免許証・パスポート等)のコピー
- ④ 在学生の方は、有効期限の切れた学生証



【送付先】〒010-8502  
秋田市手形学園町1-1  
秋田大学内  
放送大学秋田学習センター

# 今後のスケジュール

## 5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 1日 夏季集中科目履修生(司書教諭)出願受付開始(～5/31)  
ライブWeb授業開始(～8/29)
- 8日 通信指導提出開始(Web)
- 10・11日 面接授業 『日本近現代小説を読む』  
『超分子・分析化学』
- 14日 通信指導提出開始(郵送)
- 17・18日 面接授業 『高齢期の健康を支えるケア』  
『実感できる物理学』
- 24・25日 面接授業 『障害者の社会参加と就労支援』  
『初歩からの表計算プログラミング』
- 28日 通信指導提出期限(郵送:本部必着、Web～17:00まで)
- 31日 面接授業 『大地の成り立ちを学ぶ』

## 6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- 1日 面接授業 『大地の成り立ちを学ぶ』
- 7・8日 面接授業 『心理検査法基礎実習』  
『生活地理学入門』
- 10日 第2学期学部、大学院修士選科生・科目生出願受付開始(～9/11)
- 21・22日 秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験操作体験会(第1回～4回)

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 5日 公開講座「男鹿半島の活断層  
もたらされた恵みと地震災害の脅威」  
会場:男鹿市民ふれあいプラザ13:30～
- 5・6日 面接授業 『SDGs下のアジア産業論』  
『英語学習の楽しみ方』
- 12・13日 面接授業 『エネルギー問題からみた国際関係』  
『英米文学入門』
- 16～24日 学部・大学院単位認定試験(Web受験方式)  
※記述・併用式科目は20日 17:00まで  
※択一式科目は24日 17:00まで
- 16～20日 学部・大学院単位認定試験(郵送受験方式)必着

- …閉所日
- …通信指導提出期限
- …単位認定試験日(学部・大学院)

## 8月

- 7日 卒業研究新規履修申請(～8/14必着)
- 12～15日 センター閉所日(夏季臨時閉所)
- 15日 第2学期科目登録申請受付(～8/28郵送、～8/29web)

**2025年4月1日から、センターの閉所日が変更になりました。**

- ◆ 4月～7月、10月～12月:月曜日・火曜日・祝日
- ◆ 8月～9月、1月～3月:日曜日・月曜日・祝日

※予定は変更する場合があります。臨時閉所する場合は秋田学習センターのWebサイトでお知らせしますので、学習センターウェブサイト等でご確認ください。

